

# 平成29年第1回 昭島市教育委員会定例会議事録

日時：平成29年1月19日

午後1時30分～午後2時22分

場所：保健福祉センター 視聴覚室

昭島市教育委員会

○教育長（小林一己） それでは、ただいまから第1回教育委員会定例会を開会いたします。

本日の日程は、お手元に配布のとおりでございます。

初めに、前回の会議録の署名についてでございますが、既に調整を終わり、署名も得ておりますので、ご了承をいただきたいと存じます。

次に、委員会規則第19条の規定に基づく本日の会議録署名委員でございますが、4番の氏井委員と5番の白川委員でございます。よろしくお願いいたします。

続きまして、日程4、教育長の報告です。

毎月報告をするにあたりましては、東京都の報告や文科省の動向などお話をさせていただいておりますけれど、教育長会につきましては今月末ということになっておりますので、東京都の動向についてはまた改めて機会を設けましてお話をさせていただきたいと思っております。

新春早々、委員の皆様には、体力づくり歩け歩け大会、また駅伝競走大会、成人式、たこあげ大会にもご参加をいただきありがとうございました。事故もなくすべての事業が無事に完了いたしました。特に成人式につきましては、1,041名の方が昭島市では成人を迎えられております。そのうち、750名の方が式に参加をいただきました。昭和館で行ったわけですが大勢の成人の方が見られ、中には奇抜な格好をされていた方もいらっしゃってちょっと不安はあったのですが、皆さん非常に紳士的な対応を取られて、会場内の雰囲気も和気あいあいとした形で式が進行できました。また、第二部の恩師との対面については、私が見る限りでは、中学生、小学生に戻ってしまったのかなど、そんなあどけない表情もかいま見ることができました。ぜひ私どもにつきましてもこういう機会を多く持ちまして、昭島のよさを今の若い方たちに改めて発信をして再認識をさせていただいて、ぜひとも住み続けたいまち昭島というのを私ども掲げておりますので、それに向かってさまざまな形で対応していきたいなど、そのように成人式に参加して感じたところでございます。

また、この間の土日は非常に寒さが厳しかったわけですが、若干今日あたりは寒さが和らいでいると思います。しかしながら、寒さはこれからですので、ぜひ委員の皆様にも風邪等十分注意していただき、体調管理に万全を期していただきたいと思っております。そういう中で学校のインフルエンザの休業状況ですが、ここで何件か発生をしまして、昨年になりますけれど、12月19日から12月21日、この間に瑞雲中学校の1学年、こちらが学年閉鎖となっております。それと今年に入りまして、1月17日から19日まで、こちらは成隣小学校、6学年の1学級の学級閉鎖が発生しております。先ほどいただいた情報ですが、清泉中学校の2学年が学級閉鎖、今日からという形になっております。これから先生方には校長会、副校長会を含めて児童生徒の体調管理には万全を期すよう、特にインフルエンザ等の対策を怠らないようお願いをさせていただきますけれども、学級閉鎖等が発生した場合については、また委員の皆様にも何らかの形でご連絡を差し上げたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

続いて、教育委員会の名義使用承認でありますけれども、今回はありませんでした。私のほうからは簡単で恐縮ですが、ただいまの報告等につきまして、ご意見等があればお願いいたします。

よろしいでしょうか。それでは次に移りたいと思います。

続きまして、日程 5、議事に移ります。議案第 1 号「昭島市スポーツ推進委員の委嘱について」説明を求めます。

○スポーツ振興課長（武藤 茂） 議案第 1 号「昭島市スポーツ推進委員の委嘱について」提案理由とその内容についてご説明申し上げます。

昭島市スポーツ推進委員は、昭島市スポーツ推進委員に関する規則第 4 条に基づき、市民のスポーツ推進を図るため、スポーツに関する深い関心と理解を持った方を委嘱しております。委員の定数は 18 名以内とし、委員の任期は 2 年となっております。平成 28 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までを任期として、現在 17 名の方を委嘱し、スポーツ推進に取り組んでいただいておりますが、新たに 1 名の方を委嘱いたしたくご提案するものでございます。

恐れ入りますが資料をご覧ください。新たに委嘱する方は小川智子さんで、市内福島町にお住まいで、軟式テニスや空手道などを経験し、現在は昭島市ビーチバレーボール協会に所属し、協会の発展にご尽力いただくとともに、地域のさまざまなスポーツ行事に積極的に参加されております。スポーツ推進委員としての任期は平成 29 年 2 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まででございます。

以上、簡略な説明でございますが、ご審議賜りますようお願いいたします。

○教育長（小林一己） 議案第 1 号について事務局からの説明が終わりました。本件に対する質疑、意見、要望等をお受けいたします。

よろしいですか。以上で質疑、討論を終わります。お諮りいたします。本件は原案どおりに決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○教育長（小林一己） ご異議なしと認め、議案第 1 号は原案どおり決しました。

続きまして、議案の審議は終わりました。本日協議事項はありませんので、報告事項に移ります。報告事項 1「昭島市実施計画（平成 29 年度～平成 31 年度）〈教育委員会関係〉について」説明を求めます。

○庶務課長（柳 雅司） 報告事項 1「昭島市実施計画（平成 29 年度～平成 31 年度）〈教育委員会関係〉について」ご説明させていただきます。

平成 29 年度から平成 31 年度まで昭島市実施計画につきましては、昨年 12 月 16 日に開催された昭島市議会全員協議会におきまして議会に報告をさせていただいたもので、そのうちお手元の報告資料 1 は教育委員会関係を抜粋したものでございます。

本計画策定の目的は平成 23 年度から 10 年間を計画期間とする第 5 次昭島市総合基本計画の着実な推進を図るため策定するもので、平成 29 年度から 3 カ年の施設計画事業を中心に事業量を示したものでございます。

2 ページから 4 ページにつきましては学校教育部関係、5 ページから 9 ページにつきましては生涯学習部関係となっておりますので、学校教育部関係につつま

しては私から、生涯学習部関係につきましては社会教育課長からご説明を申し上げます。

それでは、学校教育部関係についてご説明いたします。

2 ページ目の冒頭3、未来を育む昭島(教育・文化・スポーツの充実)でございますが、総合基本計画の大きな6つの基本的施策の大綱の一つとなっております。

それでは、3カ年の事業計画について、2ページの下段から事業名の順に沿いながら新規搭載事業を中心に説明をいたします。

まず、便所改修工事でございます。便所改修工事につきましては、要望が多くなるべく早く行いたいところですが、厳しい財政状況から各校の状況を見て順次行っているところです。

次に、3ページの一番上段の大規模改修工事でございますが、昨年の計画で設計のみが計上されたものについては工事が追加されました。その次の除湿温度保持機能復旧工事は、空調設備の改修になりますが、新たに昭和中学校の設計が計上されました。次のプール改修工事では、昭和中学校が新たに計上されました。芝生化工事では、多摩辺中学校のプールと体育館の北側に芝生化を設置する設計及び工事費が計上されました。拝島第一小学校校庭整備工事は、平成27年12月に田中孝様からいただいた寄附で整備を行うものでございます。次の拝島第二小学校校舎等増築工事につきましては、今後の学級数増により教室数が不足する見込みであることから実施するものです。コンピューター教室等機器整備事業につきましては、昨年度は中学校のみ計上いたしておりましたが、本年度は小学校を加え計上いたすものです。一番下の無線LAN環境更新事業は、すでに整備を終了した拝島第一小学校を除く小中学校全校に、教室で40台の無線LANが使用可能となるよう整備を行うものです。

4ページのネットワーク機器更新事業、図書館システム機器更新事業につきましては、老朽化に伴い更新をいたすものでございます。次の、社会科副読本「私たちの昭島市」作成事業については、2年ごとに更新している「私たちの昭島市」の作成を行うものです。次の、特別支援教育推進計画策定事業については、平成25年2月に策定した現在の計画が平成29年度までとなっていることから、その後の計画を策定するため計上するものでございます。小学校特別支援教室開設事業については、全校が平成30年度までに開設を目指す中で、すでに開設した8校を除く5校について計上いたすものです。自閉症・情緒障害固定学級開設事業については、清泉中学校では平成30年度、富士見丘小学校では平成31年度の開設を目指し計上するものです。自校給食校調理機器整備事業は、老朽化した機器について順次更新を図るものです。一番下の学校給食収納管理システム機器更新事業については、住民基本台帳システムの更新にあわせ、収納管理システムが稼働するよう更新を行うものです。

私からは以上でございます。

○社会教育課長(伊藤雅彦) 引き続き、生涯学習部に係る実施計画の施策につきましてご説明させていただきます。

5ページをご覧ください。「あきしまらしさ」を築く(市民文化・学習・スポーツの推進)として、生涯学習、「(仮称)教育福祉総合センター」の整備事業の工事

を行うほか、市立会館の空調設備等の改修や都市計画道路の整備に伴う旧昭和中学校木造校舎の解体を行ってまいります。

6ページでございます。図書館活動として、「(仮称)教育福祉総合センター」内の図書館機能の整備に伴い自動化書庫を設置するほか、都市計画道路の整備に伴い、現市民図書館の解体を行ってまいります。

7ページでございます。文化・芸術として、市民会館・公民館において来館者の安全性と快適性の確保のため、外壁タイル改修、屋上防水工事や空調設備改修工事のほか、大ホールのピアノをオーバーホールいたします。

8ページでございます。スポーツ・レクリエーションとして、老朽化が進む総合スポーツセンターのロビー、吊り天井の改修を行ってまいります。

9ページでございます。文化財として大日堂内にある東京都指定有形文化財の3つの如来坐像の損傷が激しいため、堂外に持ち出し修復する事業に補助を行うほか、平成25年度より毎年発刊しております昭島近代史調査報告書の第5巻目以降の発刊や「月廻野露草雙紙」の上下巻合本再版を行ってまいります。また、「(仮称)教育福祉総合センター」の開設にあわせ、アキシマクジラ化石の原寸大レプリカなどの作成と市指定有形文化財の「山王祭礼図絵」の複製作成のほか、昭和中学校木造校舎内に保存している収蔵民具等について整理・分類を行ってまいります。

以上、よろしく願いいたします。

○教育長（小林一己） 報告事項1についての説明が終わりました。本件に対する質問、意見等をお願いいたします。

○委員（氏井初枝） お尋ねです。2ページのトイレの改修工事に関してです。家庭のトイレが今洋式化になってきているとか、学校が災害時の避難場所になるということから、学校のトイレもだんだん洋式化されているという動向があると思うのですが、この工事というのはそういうことも踏まえての工事ということでしょうか。

○庶務課長（柳 雅司） 委員、おっしゃるとおりでございます。改修内容としましては、床も壁も全部はがしまして、便器とともに1階から3階又は4階までの配管なども交換しまして、和便器については、すべてではありませんが洋便器にしていくような状況でございます。和便器の数につきましては、学校とよく相談して決めております。

今年度につきましては、つつじが丘小学校についてはワンフロアに一つ和便器が残る、東と西にトイレがありますけれども和便器が一つ残り、そのほかは洋式という状況になっております。

○教育長（小林一己） 洋式トイレの率としては何%ぐらいですか。

○庶務課長（柳 雅司） 小学校は今、体育館も入れまして洋式率として全校の平均が42%となります。中学校のほうは45%となっております。

○委員（氏井初枝） 改修の中で、和を一つずつ残しておく、その和式のトイレのメリットというのはどういうことでお考えですか。

○庶務課長（柳 雅司） 洋式を求める声はすごく多いのですが、和式でなければトイレに行きたくない、昔はもっと多かったのですが、不衛生だと感じる方もいるようで、和式を望む声もゼロではないので和式を残しております。

○委員（氏井初枝） わかりました。

○教育長（小林一己） ほかに何か。  
よろしいですか。

この資料については議会の全員協議会に提出したものの教育委員会部分を抜粋したということで、これ以外にも、もし教育委員さんのほうにこういうものが事業採択をされたというものがあればお話したいのですが。かなりボリュームがあるので、非常に額も制約されて抜粋されておりますので、何かあればお話しください。

○統括指導主事（長崎将幸） 実施計画の採択ではないのですが、今度新しく始まる学習指導要領の中で小学校の3・4年生で外国語活動を実施する予定になっております。昭島市教育委員会としましては、来年度から20時間程度、小学校の3・4年生で外国語活動を実施してまいりたいという方向性で、その事業に活動する外国語活動指導補助員を3・4年生各学級に10時間分、予算をつけてまいる方向でおります。

○委員（紅林由紀子） 今の件についてひとつお伺いしたいのですけれども、今おっしゃった指導補助員というのは、現在のネイティブスピーカーの方が5・6年生に入っていると思いますが、その方が3・4年生も見ていただけるということなんでしょうか。

○統括指導主事（長崎将幸） 委員のおっしゃるとおりで、今5・6年生についている分を3・4年生のほうまで拡充していくという方向です。

○委員（紅林由紀子） はい、ありがとうございます。

もう一つ、3・4年生からの英語・外国語活動ということで、現在、学校の先生方もこの外国語活動の指導の研究などされていらっしゃると思うのですが、3・4年生から始まるとなると、よりそれに携わる先生が多くなるということだと思います。その辺の研修とか、特に普通の先生方はもちろんですが、状況によっては講師の方とかそういう方もそれに携わることもあると思いますが、そういった研修というのはどのようにされていかれるのかお聞かせください。

○統括指導主事（長崎将幸） 今年度から外国語活動推進リーダーとして市内に2名の先生が東京都から加配という形で指名を受けています。その先生が中心となって、

外国語活動の授業はこのようにやったらいいですよというような提案授業を今年度2回実施しています。それから各校を回って、実際にこの外国語活動の授業はこのようにしたらいいですよという訪問を各学校1回行ってあります。さらにその推進リーダーのお二人の先生に指導課に来ていただいて、来年度の3・4年生の外国語活動に使えるような指導計画であったり教材であったり、いろいろな資料について作成をして、ファイルサーバーとかICTの中のファイルサーバーの中に共有フォルダをつくりまして、そこから自由に使えるよう整備を進めております。来年度もこの英語推進リーダー二人がそのまま継続して配置される予定になっていますので、来年度も続けて実際に始まったところで相談にのったりというような形で進めていって、円滑に中学年でも外国語活動が進められるように今準備を進めているところです。

○委員（紅林由紀子） はい、わかりました。

○指導課長（岡部君夫） 英語教育に関しては、これはあくまで情報でまだ何も決まりではないのですが、東京都のほうも事業としてはモデル事業として、来年度から英語専科教員というのを小学校もいろいろ試していくということが出てきておりますので、本当にそのようになっていくかわからないのですが、そういう流れもあるというところもございます。昭島市も一応申請はしているところがございますが、なかなかつかどうかはわかりません。そういう流れがあるということは確かでございますので、あくまで情報です。以上です。

○委員（紅林由紀子） はい、わかりました。

今、英語を習っているお子さんも多いようで、幼稚園から習っていたりとか、そういった場合に、元々の知っていることの格差みたいなものが子どもの中で多分あると思うのです。その辺をうまく指導して、うまく授業を組み立てていただいていただきたいと思ひまして、このように発言させていただきました。

○教育長（小林一己） 生涯学習部から何か委員さんに伝えておきたいというようなことはありますか。

○スポーツ振興課長（武藤 茂） 毎年開催しておりますチャレンジデー、こちらにつきましては来年度も開催する予定で考えております。日にちにつきましては5月31日です。詳細につきましては、教育委員会定例会でご報告させていただきます。情報ということでよろしくお願ひいたします。

○教育長（小林一己） よろしいですか。

ほかに何かご意見は。

○委員（石川隆俊） 小さいことですが、なるべく予算の執行は少なくしたいというのはどこでもそうでしょうが、工事というのは大体常識な値があるけれども、なかなかレプリカをつくるのが2,000万円とか、例えばいろいろな民具の整備に

1,000万円とかなっているのですが、ここはなかなか簡単に算定しにくいようなものもあるかもしれないので、もちろん適正にやられているとは思いますが、その辺見積もりは取れませんけれどもね、一つしかないわけだから、相手が。そういうのも一つなるべく節約するようにお願いしたいものです。

○社会教育課長（伊藤雅彦） 石川委員のおっしゃるとおり、1社だけでやってしまいますと、レプリカの場合は金額というのが定まらないものですので、一応3社ほど。

○委員（石川隆俊） そんなにありますか。

○社会教育課長（伊藤雅彦） 見積もりを取りまして、その中で一番値段的には安かったのですが、技術的にも優秀とみられるところから見積もりをいただいたものをベースとして今回は載せさせていただいて。

○委員（石川隆俊） なるほど。これは博物館がつくるわけではないですね。

○社会教育課長（伊藤雅彦） はい、違います。それから民具の整理ですが3カ年での金額になりまして、既に28年度、民具の整備を行っておりまして、こちらのほうも競争入札で取った業者が本年度はやっております。

○委員（石川隆俊） 大変丁寧に、わかりました。

○委員（白川宗昭） 今、この昭島市実施計画というのをいただいておりますけれども、これは教育に関することだけの抜粋となっているわけですが、先ほどの中にもあったと思いますが、やはり教育だけじゃなくて福祉とかまちづくりとか、関連するところがあるのではないかと思います。例えば子育て支援、どこかほかで何か使っているのかとか、障害者支援とかいうもの、あるいはまちづくりで郷土芸能まつりでしたっけ、どこかほかの部署になっているはずですが、少し広げて関連するものを出していただくと教育委員会としてもより一層一体的に全体像が見えてくるのではという感じがします。ですから、もしこれからまたこういうことがあるとすれば、少しその辺を考慮していただければとお願いをしておきたいと思います。

○教育長（小林一己） はい、わかりました。次回、実施計画の報告をする際にはそれも配慮いたしまして、なかなか関連部署となると膨大な量になる可能性もありますので、その辺どの辺でわかりやすいかということも踏まえまして、ご意見については尊重させていただければと思います。

ほかにはよろしいですか。それでは報告事項1を終わります。

続きまして、報告事項2「平成28年度卒業式・平成29年度入学式祝辞者について」説明をお願いいたします。

○庶務課長（柳 雅司） 報告事項2「平成28年度卒業式・平成29年度入学式祝辞者に

ついて」ご説明させていただきます。

卒業式については、小学校は3月24日、中学校は3月17日、入学式については、小学校は4月6日、中学校は4月7日を予定しており、12月の教育委員会定例会でご協議いただいた祝辞を朗読していただくようお願いするものでございます。

詳細な時間については、後日連絡いたします。以上です。

○教育長（小林一己） 説明が終わりました。本件に対する意見等をお願いいたします。

よろしいですか。それでは3月と4月になりますけど、それぞれのスケジュール調整をよろしくをお願いいたします。

以上で報告事項2を終わります。

続きまして、報告事項3「平成28年度「昭島市立学校の児童・生徒及び保護者アンケート」の調査結果について」説明を求めます。

○指導主事（美越英宣） 報告事項3「平成28年度「昭島市立学校児童・生徒及び保護者アンケート」の調査結果について」資料をもとにご説明いたします。本日、差し替えた資料を机上に配布してございます。お手数をおかけし申し訳ありませんでした。

さて、本調査は毎年行っているもので、資料では平成26年度からの3カ年の調査結果を示しております。また、今年度は児童・生徒・保護者が回答しやすいように質問を具体的にした項目もございます。そして、調査対象は市内小学校第4学年から第6学年の児童及び保護者、中学校では、全学年の生徒及び保護者を対象に実施いたしました。本日は、時間の関係から、特徴がわかる一部の結果と今後の方向性をご報告させていただきます。

最初に1ページの、「確かな学力」、「学校の授業は、わかりやすい」、をご覧ください。児童の91.5%、生徒の83.9%が「授業はわかりやすい」と回答しており、平成27年度と比べると少しですが減少した結果となりました。授業改善推進プランを活用した授業改善を進めていく必要があるととらえております。

次に、2ページ目をご覧ください。「先生方は、授業を工夫している」につきまして、児童の90.4%、生徒の79.7%が「先生方は、授業を工夫していると思う」と回答しております。特に小学校につきましては、肯定的な回答の割合が高い傾向にございます。また、中学校では教員の授業力向上を図り、主体的に学ぶ授業を推進していく必要があるととらえております。

次に、8ページをご覧ください。「豊かな心」、「学校に相談できる先生がいる」につきましても、「1人以上いる」と回答した児童が77.8%、生徒が63.4%となりました。教員が教育相談の能力を身に付け、児童生徒と接する時間を工夫して確保する必要があるととらえております。

次に、13ページをご覧ください。「輝く未来」、「先生方は、将来の夢や目標などについて相談にのってくれる」と回答している児童は、昨年度から3.1ポイント増加し、生徒は3.3ポイント増加しました。この結果は、先生方が児童生徒に寄り添い、日々丁寧な指導を行っている成果の表れであると考えられます。

次に、16ページをご覧ください。「たくましい体」、「学校生活を通して、体力

が付いてきていると思う」と回答している児童生徒は、ともに昨年度から増加しております。この結果は、本年度の体力向上の取り組みの効果があつたこと、学校が体育・保健体育の授業・部活動や体育的活動を充実させている成果ととらえることができます。

その他の項目につきましては、お時間のあるときにご覧いただければ幸いです。以上で報告を終わります。

○教育長（小林一己） 報告事項3についての説明が終わりました。本件に対する質問、ご意見等をお願いいたします。

○委員（紅林由紀子） 今回、調査のアンケート項目をかなり答えやすいような形にという意図で変えたわけですが、わからないかもしれません、変えてみてどうだったのかというような何か感触が、もしおありでしたら教えていただきたいと思ひます。

○指導主事（美越英宣） 今回、12項目変えてございます。その12項目を具体的にさせていただいたのですが、やはり児童も生徒も保護者もしっかり答えることができたのではないかなと思ひます。例えば、4ページ目、「一週間にどのくらい読書に取り組んでいますか」、今までは「毎日読書をしていますか」、「よくしている」「大体している」「していない」「あまりしていない」という回答を「7～5日」、「4～3日」、「2～1日」、「読書はしない」と具体的なイメージができるように12項目変えさせていただきました。その中で、はっきり答えられるようになったのではないかなと思ひます。その上で今回考察も付けさせていただいておりますけれども、逆にマイナスに寄つた部分も児童生徒の中に、否定評価のほうに進んだ部分も、肯定評価に進んだ部分も、それは項目によってはあつたかなと思ひます。ページの下3つが児童の3年間の比較となっておりますので、個々の変遷の部分をご覧くださいますと、これがより具体的質問になってプラスになったんだな、より具体的になってマイナスになったんだなという回答も一目でわかるようになっておりますので、あとでご確認いただければと思ひます。

○統括指導主事（長崎将幸） 回収率の面からも、昨年度の保護者の回収率ですけれども、小学校が78.3%で、今年度につきましては78.7%。中学校の保護者につきましては、昨年度が70.8%、今年度が75.6%ということで、回収率は若干上昇しておりますので、保護者の立場から考えると回答がしやすく提出しやすい環境に改善されたかなと考えております。

○委員（紅林由紀子） はい、わかりました。ありがとうございます。

○教育長（小林一己） ほかにいかがでしょうか。

○委員（石川隆俊） 最後のことですけれども、確かにこれは大事なことだと思ひますが、親が学校のことについてなかなか把握できない面も少しあるのではないかなと思ひ

ます。例えば、子どもを通してきくのか、授業参観などの時に聞くかもしれないけれども、先生がどんなふうに思っているかというのは、これは本当のことはなかなかそこまで親には把握できないものも少しあるかもしれないという気がします。だから答えにくい、うっかりすればそれが提出率の下がる理由になるかなど。だからもちろん今から変えるのはもう無理でしょうけれども。だから子どもがどういう状況になっているかというのは親が何となく把握しにくい、初めの部分の質問ですね、いくつか。だからそう簡単に親がすぐにまねができないかもしれない。

○指導主事（美越英宣） 今の石川委員のおっしゃったことが、1つめと2つめの質問、1ページと2ページのところでよくわかるところでございます。実は、生徒は、授業はわかりやすいと言ったところで、保護者との違いが13%もございまして。そのくらい、子どもはわかりやすいよと言っている部分があるのですけれども、保護者の場合は、学校公開という、広げて皆さん来てくださいと言っていますが、子どもが恥ずかしくて来ないでねとかいうところがあって、学校になかなか足が運べなくて状況が把握できていないという部分もあるのかなと感じます。

また、2ページ目のところを見ていただきますと、これも中学校ですけれども、子どもたちは工夫しているのとらえている部分がありますが、保護者の方はそこから21.7%落ちて差ができております。それだけ学校の授業というのはどのようにしているのかというのは、なかなか把握しにくいところもございまして、いただいたご意見をまた次年度どうすればいいか検討させていただいてアンケートを実施させていただければと思います。

○委員（石川隆俊） 切ってしまうのもあれだし難しいところですね。今までやっているからそのまま付けて置くという感じかもしれない。

○委員（紅林由紀子） 今の先生のご意見に対して、私は逆にこの違いを知っているということもすごく大事なことでないかなど。そのギャップとかその認識の差を意識してみるということも大事なので、わからないならわからないなりに、逆に本を読んでいる程度とか家庭学習の程度とか、そういう家にいる者ではないとわからないデータもあるので、その両方があるといいのではないかなど私は感じます。

○委員（石川隆俊） わかりました。

○教育長（小林一己） ほかにいかがでしょうか。

○委員（紅林由紀子） 5ページの学校で学んだことを生活の中で生かしているかどうかという項目について、減少しているということで、それに対しての考察として「体験学習の充実や学習の日常との関連を明確にして、児童・生徒の学ぶ姿勢や態度を育成していく必要がある。」となっていますが、これは確かにそうだなと思うのですが、もっと単純に生活の中で生かしている、生かしているけれども子どもは

それを自覚していないということも結構あるのではないかなと思ひまして、やはり保護者が少し声かけをするだけでその意識は少し変わるのかなというか、例えば、それこそ家庭と学校との連携という意味で、算数でこういうことを習ったら、家でこれは何に使ったらいいのかなとか、あるいは、家庭科でも理科でもいいのですけれども、お鍋のここがどんどん熱くなるのはどういうことかなとか、何かそういった、ああこれが先生の言っていたことかみたいに子どもが思えるような、親への声かけ集みたいなの、なにかワンポイント、いつも学年便りとか出していただいていますよね、その中で、今学校ではこれを勉強していますよというようなことを出していただいています、算数だったら今図形をやっていますとか何をやっていきますとか、それをやっているということはわかっても、それがどういふものなのかということはよっぽど詳しくそれを知ろうとしない限り、普通親は無関心だと思うのです。そういった中でこんな声かけを家でしていただければかみみたいなお便りを出していただくとか、そうすると子どもに日常生活の中の、この場面が、学校で今やっているこのことだよ、みみたいなことができると、子どもはもっと、ああこれかみみたいに生活と学びがもっとつながっていくことができるのではないかと感じるのですが、そんな取り組みもしていただけたらどうかと思ひます。

○指導主事（美越英宣） 今、ご質問いただきありがとうございます。2点ございまして、1点目はやはり学校からの情報発信を充実させないといけないと、今お話を伺って思ひます。現状としてはホームページで学校の状況をお伝えしたり、学級便り、学年便りという形で伝えさせていただいております。その中でも細かく写真を活用して、こんな事業ですよと言っている、伝えている教員もいますので、そういう良い取り組みを少し広げていけたらなというふうに思ひます。

もう1点は、保護者の方が学校に来ていただく学校公開、保護者会でどれだけ伝えられるか、どれだけ発信できるかというところがポイントになるかなと思ひます。保護者会のほうは、参加者がどんどん減ってきているというのが今、学校の実情でございますので、やはり保護者の方が来たくくなるような、また、保護者の方が来てよかったというような保護者会を実施することで、またさらに、こういう部分で学校でやっているから家庭ではこういう部分を生かしていこうという保護者の方の理解も深められていくのではないかなと思ひます。

今いただいたご意見を検討して、学校に伝えてまいりたいと思ひます。以上です。

○委員（紅林由紀子） ありがとうございます。

○教育長（小林一己） ほかにいかがでしょうか。

○委員（紅林由紀子） もう一つ質問、よろしいですか。19ページの習い事ですけれども、複数回答になっていますが、そこに書いてあるパーセンテージはどういふ見方をすればいいのかということです。これは子どもの中で38%の子がスポーツを習っているということなのか。でも、円グラフになっているということは、全部足し

て100になってしまうということは、複数回答の場合どのように見ればいいのか。隅をつついて申し訳ございません。できれば子どもの中でどのくらいの割合、スポーツをやっている、どのくらいの割合、音楽をやっているという子どもの数から見た割合を出していただけると状況がイメージしやすいと感じます。

○指導主事（美越英宣） 全くご指摘どおりでございますので改善をしてみたいと思います。ありがとうございます。

以上です。

○教育長（小林一己） ほかにいかがでしょうか。

○統括指導主事（長崎将幸） 先ほどの説明に付け加えさせていただきたいと思います。今回のアンケートで、携帯電話やSNSに関するアンケートを加えさせていただきましたのでご説明させていただきます。

20 ページをご覧ください。「携帯電話やスマートフォンを持っていますか」ということについて質問をした項目でございますが、小学校につきましては携帯電話やスマートフォンを持っている児童は57.8%。中学校につきましては77.3%ですので、かなりの率で携帯電話やスマートフォンを持っているという実態がこのアンケートでわかりました。その中で、21 ページのほうをご覧ください。「SNSを使っていますか」というところにつきましては、小学校ではよく使うが25.9%、時々使うが15.1%。中学校につきましてはよく使うが49.6%、時々使うが16.7%ということで、携帯電話を持っている子どもたちの中でSNSも大分使っている子どもたちが多いということがこの調査でわかりました。やはりそういうところを踏まえて、学校においても生活指導の場面や情報モラル教育を通じて正しい情報の扱い方について今後も指導していく重要性が高まっているということを感じております。

続いて、22 ページ最後のところですが、1月のネットいじめ防止サミットのところでもSNS学校ルールを発表して、SNSの正しい使い方を子どもたちみんなで考えていこうということで行い、そのあとSNS家庭ルールをつくらうということの呼びかけをしているところですが、決めているというご家庭も30%を超えるほどありますが、まだまだ決めていない、話し中というような家庭も多いですので、やはりこのSNSにつきましては、やはり家庭と一緒にルールをつくっていくということがとても大切だと思っておりますので、この啓発については今後も一層積極的に行っていきたいと考えております。すみません、追加ということで以上でございます。

○教育長（小林一己） 今の説明を踏まえましていかがでしょうか。

○委員（氏井初枝） 今、統括からお話があったようにぜひ家庭のほうにもSNSの使い方のことや何かに関しての啓発を続けていただきたいと思います。数年前から学校側としてはセーフティ教室や何かの際に、親御さんも招いて警察の方からいろいろお話を伺ったりとか、いろいろな機会を設けてはいるのですが、なか

なか保護者の方も大勢はいらしていただけなかつたりする中で、やはりいろいろこれに関連してのトラブルは学校で起こっていますよね、いじめにつながったり、それが不登校につながったり、使い方を間違えてしまうとすごく怖いものになる、便利だけれども使い方を誤ってしまうとすごく怖いものなので、十分に情報モラル教育ですとか保護者への啓発ですとか続けていくことがすごく大事ななと思っております。やはりこの決めていないというパーセントが40%というのを問題視していったほうがいいということを感じました。

以上です。

○教育長（小林一己） ほかにいかがでしょうか。

今、指導課からSNSの啓発等も今後引き続いて強化していくという話がありましたけれど、例えば新たな取り組みとかその辺は考えているのでしょうか。新年度から。

○指導主事（雑賀亜希） 来年度につきましてですが、情報教育の教員への研修の充実を図っていくことを今、予定しております。今年度は初任者を対象とした情報研修が中心だったのですが、来年度につきましては各学校から1名以上の先生が受講できるような体制で今、予定を組んでいるところです。

○教育長（小林一己） よろしいですか。

それでは報告事項3を終わります。

以上で報告事項1から3の説明が終わりました。報告事項4から6につきましては資料配付のみとなっておりますけれども、事務局への質問等がありましたらお願いいたします。

○委員（紅林由紀子） 質問ではないのですが、この公民館の主催事業についての資料を拝見して、大変魅力的なすばらしい講座がメジロ押しという感じですので、ぜひ多くの方にご参加いただければと思いました。ありがとうございました。

○教育長（小林一己） ほかにいかがでしょうか。

それではないようですので、続きまして、その他の事項に移りたいと思います。事務局から何かありますか。

それでは続きまして、次回の教育委員会日程についてお願いいたします。

○庶務課長（柳 雅司） 次回の教育委員会定例会の日程でございますが、2月9日木曜日、午後2時半から、場所は市役所301会議室でございます。また、当日は午後1時より昭島市育英会役員会が市役所203会議室で行われますので、あわせて教育委員の皆様には出席をお願いいたします。

以上です。

○教育長（小林一己） 次回の教育委員会の日程につきましても調整のほどよろしく願います。では特に皆様から何もないようでしたら、本日の日程はすべて終

了いたしましたので、第1回定例会を閉会いたします。お疲れ様でした。ありがとうございました。午前中からの総合教育会議に引き続いてありがとうございました。

以上

平成 年 月 日

署 名 委 員

4 番 委 員

5 番 委 員

調 整 担 当